

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】		
			小項目			
1 「大交流」の時代に向けて、観光入込客数600万人、宿泊者数110万人を目指し、強い集客力を持つ新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。	①2市2町の戦略拠点において策定されたマスタープランの実現に向けた取組を支援、「交流」の基盤となる戦略拠点をつなぐ事業を実施 －「海の京都」の戦略拠点と調和した基盤整備の推進 －KTRの駅を起点とした地酒や食等地域の様々な資源を組み合わせた魅力あるツアーの実施 ・「海の京都」の地酒とたからもの巡りツアー 3回 －山陰海岸ジオパークの観光資源としての有効活用 ・白南風荘跡地の活用検討 ・山陰海岸ジオパークを巡る女子旅ツアー等 3回 －海の京都観光推進協議会と連携した「海フェスタ京都」関連事業の取組及び平成27年度開催の「海の京都博」の準備	○	○	「海の京都」の戦略拠点と調和した基盤整備の推進 ・天橋立周辺の歩行空間整備[一部概成] ・天橋立公園の施設整備（休憩所、トイレ等）[一部完了] ・加悦岩滝自転車道線 道路整備[完了] ・加悦奥川[天神橋詳細設計完了] ・伊根港線[地域主導 12月採択済] ・久美浜一区周辺の道路修景整備[完了] ・かぶと山展望台の施設整備[完了] ・各市町が実施する関連事業（天橋立駅改修、伊根交流施設、京丹後かぶと山園地整備）[一部概成] ・海の京都美観事業 丹後管内 13件採択 「海の京都」の地酒とたからもの巡りモニターツアー 3回（延べ69人参加ツアー開発のためのプロジェクトメンバー（生産者、事業者等）20社登録） 白南風荘跡地検討会開催 2回 山陰海岸ジオパークを巡るツアー 4回（延べ101人参加） 「海フェスタ京都」関連事業の取組、「海の京都博」準備 ・「海フェスタ京都」 海の京都エリアの製品のPRを実施 ・「海の京都博」 実行委員会の設立総会 プロポーザルによる業務委託業者選定 2次交通整備等に関する2市2町との意見交換等実施		
	②地域の関係団体やスポーツ関連団体等と広く協働し、スポーツ観光を通じた個性あるまちづくりを推進 ・主要スポーツイベントの総参加者数12,000人			○	○	総参加者数 11,009人 （内訳） TANTANロングライド 1,298人 100kmウルトラマラソン 3,066人 近畿高校駅伝 3,400人 関西学生駅伝 1,231人 大相撲京丹後場所 1,700人 サーフィンコンテスト大会 150人 ビーチノルディック 延べ164人（4回）
	③「海の京都」の歴史の拠点づくりを支援 ・丹後郷土資料館の全面リニューアルに向けた基本構想の策定 ・展示環境、史跡国分寺跡の整備 ・特別展「大海中に倭人あり」など3企画展等の開催支援			◎	◎	・基本構想策定[完了] ・4/1リフレッシュオープンに向けた補修整備工事[完了] ・特別展「大海中に倭人あり」ほか3企画展を実施（企画展等実施期間中の入館者数 計6,699人）

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
1 「大交流」の時代に向けて、観光入込客数600万人、宿泊者数110万人を目指し、強い集客力を持つ新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。	④海の京都ならではの「おもてなし精神をもった」観光ガイドやサービスの提供ができる人材育成等、海の京都観光推進協議会と連携した取組を推進 ・「おもてなし力」向上のための地域団体と連携したセミナー等の実施 5回、参加者100人 ・「海の京都検定」の実施、「海の京都ガイド」の養成とともに、観光関連施設従業員向けの「おもてなし」講座を開催 2回、参加者100人		○	「おもてなし力」向上のためのセミナー 16回 延べ270人参加 ・ フランス一流シェフを講師に魚のさばき方や見せ方など実践型講演（伊根） ・ 英語・中国語の語学講座（宮津市） ・ カラーコーディネート講座（京丹後市） 等 ○ 観光関連施設従業員向けの「おもてなし」講座の開催等 ・ 「海の京都検定」「海の京都ガイド養成」に向け、海の京都推進協議会に案提示 ・ 観光おもてなし未来塾（観光関連施設従業員向けの「おもてなし」講座）の開催 8回 約100人参加 ・ 観光協会の案内強化及び人材育成のための現地研修も実施
	⑤地域の観光資源を活かした海外からの教育旅行の受入を実施		◎	・ 学校交流（網野高校）台中市私立青年高級中学校 21人 ・ 香港学習旅行ファムトリップ 1人 ・ 台湾大商談会参加（京丹後市網野町掛津区） ・ 台湾メディアファムトリップ受入
	⑥山陰近畿自動車道・野田川大宮道路の開通に向け、平成28年度を第2のターゲットイヤーと位置付けた交流人口の増加策や地域活性化策を検討			○
2 「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。	①丹後半島に点在する『海の京都』戦略拠点や景観地を大型バスで周遊することを可能にする国道178号の整備を推進 ・ 法面防災工事の促進（4箇所発注、2箇所完成）		◎	・ 蒲入バイパス [工事中] ・ 上野平バイパス [事業着手] ・ 木津バイパス [事業着手] ・ 里波見工区 [物件移転完了] ・ 法面工事 4箇所発注、4箇所完了
	②山陰近畿自動車道（大宮森本IC）から観光拠点へのアクセス道路の整備を推進	◎	◎	国道482号 ・ 弥栄工区 [工事中] ・ 丹後工区 [地元説明、測量・設計実施] ・ 大山工区 [工事中] 網野峰山線（郷地区） [工事中] 掛津峰山線（丹波工区） [地元説明、測量・設計実施]
3 畜産体験と丹後半島の海と山・観光資源が一体となった醍醐高原牧場を活用します。	①牧場景観の一層の向上と新たな観光資源としてのラベンダー畑の整備・管理、積極的な情報発信による観光客の増加を目指す ・ 観光客数 30,000人 ・ 畜産ふれあいファーム開催 1回		△	・ 観光客数 26,387人 【未達成の要因・理由】 隣接ステキハウス臨時休業(1/13~3/6)の影響 △ ・ 畜産ふれあいファーム開催 1回
	②生態展示を取り入れた幼稚園児、保育所児、小学生の学習見学や小中高生の畜産体験学習を受け入れ ・ 受け入れ者数 350人			○

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
4 丹後あじわいの郷を「丹後・食の王国センター」に位置付け、「食」の産業おこしを進めます。	①「食」をテーマに、丹後あじわいの郷を核とした10次産業化の拠点づくりを推進 ・丹後10次産業化推進協議会（仮称）の設置 ・丹後食材を活かした加工品等の開発、販売支援 ・実践的・総合的な研修・訓練を行うための施設や6次産業化にチャレンジするための施設を整備	◎	◎	・丹後あじわいの郷10次産業化事業体推進協議会を26年11月に設置。27年1月に（株）丹後王国を設立し、27年4月から丹後王国「食のみやこ」を運営 ・加工品等開発のため、試作品やパッケージの製作等を支援（レトルトカレー、モッツアレラチーズ等） ・「食」を提供する拠点施設、人材育成施設として加工・調理・販売等の機器や施設を整備
	②地域連携農産物集荷・販売システムの継続的かつ安定的な流通ルートの確立を支援、都市圏へ共同出荷する機能を強化し、「食」の販売拠点化を進め、販売・マーケティングを支える人材育成を支援 ・年間出荷額 13,000千円以上		◎	年間出荷額 17,032千円 ・神奈川県、千葉県や滋賀県大津市など都市圏店舗への継続的出荷
5 競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農産物出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を連続して取得するなど、丹後の強みをいかした産品を増強します。	①「ほんまもん京ブランド」品目等競争力のある農産物の生産拡大を推進 ・年間出荷額 3.8億円 ・京たんご梨ブランド出荷率 32%	○	△	・年間出荷額 3.37億円 ・京たんご梨ブランド出荷率 9.3% 【未達成の要因・理由】 8月の多雨、日照不足のため糖度が低下
	②丹後産コシヒカリの特A評価を史上初の4年連続取得、通算12回を達成 ・良食味共励会の出品者数120名以上 ・栽培管理の徹底等を図るタイムリーなメール情報の発信22回		◎	4年連続、通算12回の「特A」取得 ・良食味共励会の出品者数 113名 ・メール情報の発信 26回
	③京のブランド産品「祝・京の酒」に使用する酒米「祝」の生産拡大を推進 ・作付面積 64ha ・生産量 240t		◎	・作付面積 65.9ha ・生産量 243t
	④ブランド水産物の生産を拡大 ・「丹後とり貝」、「丹後ぐじ」、養殖イワガキの販売総額 60百万円（丹後管内） ・漁業者によるトリガイ養殖種苗生産数 3万個 ・養殖トリガイの歩留向上活動の強化、高水温に対応した育成技術開発 ・貝毒プランクトン発生状況のモニタリング体制の確立		○	・「丹後とり貝」、「丹後ぐじ」、養殖イワガキの販売総額 59百万円（丹後管内） ・トリガイ養殖種苗生産数3.5万個 ・歩留向上を図るため高水温に対応した育成方法を「丹後とり貝」育成マニュアル（暫定版）にまとめタスクチームで漁業者に指導 ・毒量を迅速に測定できる簡易キットを用いた貝毒プランクトン発生状況のモニタリング体制を確立

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】	
			小項目		
6 地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。	①「丹後といえば、美味しいものを食べに行くところ！」のイメージ定着に向け、関係団体や事業者と連携し普及・推進 ・各種イベント等での「長寿御膳・弁当」販売・提供 10回 ・丹後食材のファミリーブランド化 統一パンフ作成 ・旅行パンフレットへの「丹後あじわい食」クーポン掲載による情報発信 ・新鮮な魚介類をその場で食べることができる場の設置支援 2件	◎	◎	各種イベント等での「長寿御膳・弁当」の販売・提供 19回 ・イベント等での販売 大相撲京丹後場所等 12回 ・観光ツアー等での提供 「丹後のたからもの巡り」モニターツアー等 7回 ・京都市内での常時販売も実施（1事業者） 丹後食材のファミリーブランド化 ・3シリーズ（水産物、フルーツ、地酒）のパンフを作成 ・地酒飴、おもてなし手帳（フルーツ編）を試作 「丹後あじわい食」クーポン等による情報発信 ・「丹後のごっつおうばらずしを味わう周遊クーポン」発行（利用枚数290枚） ・「丹後ばらずし食べ歩きマップ」改訂発行（6万部） 管内・管外約100箇所配布 ・丹後ばらずしポスター制作 新鮮な魚介類をその場で食べることができる場の設置支援 2件	
	②ビジネス連携推進会議・関係機関と連携した丹後産コシヒカリPRや、「こだわり産品」の首都圏等での販促活動・PR展開による地域ブランディングを推進 ・「丹後のたからもの展」開催 3回 ・首都圏等でのPR・販促活動 8回			◎	「丹後のたからもの展」開催 4回 ・阪急うめだ本店（2回）、西宮阪急、イオン洛南店 首都圏等でのPR・販促活動 11回（上記含む） ・フジテレビ本社、丸の内ハウス 等
	③丹後産茶の6次産業化推進による経営強化、知名度向上に向けたPR活動を展開 ・売上高 500万円			◎	売上高 518万円
	④鹿・猪肉の安定供給を推進するため市町と連携し、食資源としての有効利用を推進 ・管内提供店舗 20店舗			◎	管内提供店舗 20店舗
7 丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。	①外部デザイナーの指導のもと競争力ある新商品開発や地域を訪れる観光客にも魅力的な商品開発などに向け、ものづくり支援と企業育成を実施 ・37企業	◎	◎	38企業（実数）の製品開発を支援（102.7%） ・デザイナー等との協働による和・洋装素材や生活関連商品の新商品、新分野商品開発を支援（15企業参加） ・専門家による商品開発・企画をテーマとした研修を通じた製品開発を支援（15企業参加） ・販路開拓支援を通じた専門家による商品企画指導（19企業参加）	
	②展示商談会を東京、大阪などの大消費地で開催、丹後ブランドの販路拡大とビジネスモデル構築につなげる ・展示商談会 20回開催			◎	展示商談会 20回開催（100%） 常設展示・販売1箇所新設（高島屋京都店） ・4月1日～15日 「ジャパンセンスズ」（日本橋三越本店） ・9月24日～29日 「海の京都 丹後のたからもの展」（阪急うめだ本店） ・10月8日～14日 「TANGO+展」（高島屋横浜店） 等

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
7 丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。	③炭素繊維強化プラスチック等の実用化研究や試作を企業と共同して進めるとともに、機械金属と織物のものづくり企業の新たな分野へのチャレンジに向けた技術的課題に対して支援 ・試作等事業支援件数 8件	◎	◎	試作等事業支援件数 8件（100%） ・地域企業を中心に立ち上げた「FRP試作研究会」の試作及びFRP試作研究会の「びわ湖環境ビジネスメッセ」出展に係る支援（試作品群2件） ・京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業提案フォロー（1件） ・京都府ものづくり技術応援事業補助金採択（5件）
	④伝統産業生産基盤支援制度等を活用し、丹後織物企業等の経営支援に取り組みます。		◎	設備投資等支援件数 77件 （伝統産業生産基盤支援事業、伝統産業育成基盤強化事業、織物産業特別強化支援事業）
	⑤3Dプリンタ等の活用により、デジタルデザイン力の向上を図るとともに、高精度・高品質な付加価値の高い部品市場への参入企業を支援		◎	3Dプリンタ、高速液体クロマトグラフ等を導入、管内企業への利用を促進 ・企業向け機器説明会を実施（実施済10回） ・メルマガ、ホームページにおいても広報実施（随時更新）
	⑥丹後織物の技術を活かすことにより、海外でも受け入れられる製品を新たに開発し、海外への販路拡大に意欲のある企業を支援 ・支援企業数 3社		◎	支援企業数 5社（166.7%） ・海外大手アパレルブランドを産地招聘
8 山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定を目指すとともに、地域住民を主体とした取組を通じて、学術・観光資源として活用し、丹後の魅力発信につなげます。	①地域住民の意見も反映したモニターツアーやそれに伴う情報発信により、丹後地域のジオパークへの誘客を促進 ・京丹後市内のジオスポットを巡る女子旅ツアー 1回【再掲】 ・海の京都観光推進協議会と連携した観光プロモーション等を実施 ・山陰海岸ジオパークを巡るツアー 2回【再掲】 ・白南風荘跡地の活用検討【再掲】	○	◎	・京丹後市内のジオスポットを巡る女子旅ツアー 2回（46人参加） ・京丹後市コンセプトモニターツアー 1回（約50人） ・山陰海岸ジオパークを巡るツアー（ジオまつ号運行ツアー） 2回（55人参加） ・白南風荘跡地活用検討会 2回開催
	②山陰海岸ジオパーク世界認定やAPGNシンポジウム開催に向け、京丹後市や山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携した取組を推進 ・世界審査再認定 ・道路案内標識を設置 10基 ・ジオサイトかぶと山展望台の施設整備【再掲】		○	世界ジオパークネットワーク再認定（9/23） ・現地審査 8/3～8/6 主要道から効果的に案内誘導する道路案内標識を設置 4基（市施工分） ・府設置分は、今年度は設計のみに変更 【未達成の要因・理由】 府設置分が26年度は設計までとなったため かぶと山展望台【完成】
9 天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。	①松並木保全や海岸の清掃、広葉樹伐採等による白砂青松の天の橋立復活を目指す ・天橋立まもり隊などの活動延べ人数4,500人 ・試験伐採の検証結果をもとに、広葉樹の伐採を継続的に実施		○	・天橋立まもり隊などの活動 延べ4,058人 ・天橋立公園松林の広葉樹伐採：説明会開催、伐採実施

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
9 天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。	②「阿蘇海フェア」や上流と沿岸の交流事業、地域外企業と連携した清掃など阿蘇海流域の環境改善に係る意識醸成を推進 ・関係市町における「阿蘇海流域の環境保全に資する条例」の制定支援 ・阿蘇海流域環境改善に係る連携事業 4事業	○	○	関係市町における「阿蘇海流域の環境保全に資する条例」制定支援 ・条例検討会 3回開催 阿蘇海有域環境改善に係る連携事業 7事業 ・阿蘇海フェア、沿岸と上流の交流事業、域外企業と連携した清掃活動、夏の清掃（7月）、秋の清掃（9～10月）、阿蘇海流域ビジョン策定、阿蘇海環境改善強化月間（3月） （カキ殻自主回収・資源化の仕組づくり、大学生と地域が協働した清掃等）
10 若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。	①「丹後・食の王国 食と文化の祭典」や「阿蘇海フェア」などに企画段階から高校生に参画、次代を担う若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」を推進 ・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」「阿蘇海フェア」参加者 4,800人 ・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」「阿蘇海フェア」協力地域団体数 70団体・事業者 ・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」「阿蘇海フェア」参画高校生 200人	○	○	・参加者数 4,393人 （阿蘇海フェア：300人 食と文化の祭典：4,093人） ・協力地域団体数 70団体・事業者 （阿蘇海フェア：17団体・事業者 食と文化の祭典：53団体・事業者） ・参画高校生数 延べ196人 （阿蘇海フェア：60人 食と文化の祭典：136人）
	②市町や各種団体が行う伝統行事や文化関連イベント等を一体的に広報するなど開催を支援 ・広報する関連イベントの総参加者：100,000人		◎	総参加者 126,905人 ・北前船寄港地フォーラム関連イベント、丹後あじわいの郷月例祭、丹後地酒まつり、与謝野町俳句大会 等
	③文化の仕掛人を配置し、地域資源を活用した文化芸術活動を企画、運営することで、地域の文化活動を活性化 ・住民参加型ワークショップ等の開催 5回		◎	住民参加型ワークショップ等の開催 10回
11 市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。	①企画列車や子ども向けイベント列車の運行、山陰海岸ジオパークを巡るツアーなどを企画・実施 ・子ども向けイベント列車の運行 2回 ・山陰海岸ジオパークを巡るツアー 2回【再掲】	◎	◎	子ども向けイベント列車等の運行 3回 ・「鉄道の日ふれあい祭り」「ぐるっと丹後周遊女子旅モニターツアー」にてご当地キャラ列車を運行 リニューアル車両を活用した山陰海岸ジオパークを巡るツアー（「京都ジオまつ号」運行ツアー） 2回
	②KTRの駅を起点とした地域の資源を組み合わせ魅力あるツアーを実施 ・「海の京都」の地酒とたからもの巡りツアー 3回【再掲】		◎	「海の京都」の地酒とたからもの巡りモニターツアー 3回

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
1 1 市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。	③住民参加の魅力ある駅舎づくりの支援や、地域食材を活用した駅弁販売等、地域住民に親しまれる鉄道づくりを促進 ・魅力ある駅舎づくりや鉄道ファンイベント実施等の支援 20駅 ・サポーターズクラブ等の会員年間10,000人を獲得	○	△	魅力ある駅舎づくり 18駅 ・駅愛称の決定 7駅 ・「丹後くろまつ号」歓迎企画 10駅 「みんなで手をふろう」キャンペーン実施、踊り披露やおもてなしサービス、ご当地キャラでのお出迎え ・「鉄道の日ふれあい祭り」（10月）を開催 1駅 サポーターズクラブ等会員 7,711人 【未達成の要因・理由】 サポーターズクラブについては、乗客を歓迎する「手を振ろうキャンペーン」や「鉄道ふれあいまつり」等の実施とともに会員の勧誘に努めたが、新運行体制に移行後の運営方法検討やリニューアル車両「くろまつ（平成26年5月運行開始）」の会員向け特典の開始（10月）及び周知の遅れ等により、目標数には至らなかった
1 2 丹後の特色をいかした「丹後あじわい食」等のこだわり食材を活用し、食関連ビジネスを創出します。	①丹後の食を活かした異業種交流（観環農商工連携）や6次産業化、ソーシャルビジネスなどの取組を支援 ・丹後アグリビジネス地域ネット（仮称）を設立 ・取組支援件数20件 ②食関連ビジネスの拡大のため食品関連企業の参入を支援 ・参入支援 1件以上 ③「丹後・食の王国ビジネス連携推進会議」の活動と連携して地域内のビジネス共同運営の取組を支援 ・地域内ビジネス共同運営の取組継続支援 2組織 ④地域の特産物のビジネスチャンスを創出、販路開拓を支援 ・都市圏等での商談会等への出展による販売促進の支援 4回	◎	◎	・丹後地域アグリネットを設立（8/7） ・取組支援件数 20件 ◎ 地域事業者や外部民間企業が連携した新会社（株）丹後王国の設立を支援 ◎ 地域内ビジネス協働運営の取組継続支援 2組織 ◎ 都市圏等での商談会等への出展による販売促進の支援 5回
1 3 和牛振興基地をめざした牧場づくり（和牛生産基地である碓高原牧場における和牛子牛の生産拡大）を推進します。	①優良雌牛の導入を図るとともに、「和牛子牛育成マニュアル」による付加価値を高めた子牛を育成、府内肥育農家の良質な牛肉生産を支援 ・子牛出荷頭数 65頭、生産頭数 70頭、妊娠頭数 75頭 ・優良和牛雌牛導入 8頭以上 ②受精卵の供給を図るとともに、和牛妊娠牛譲渡を実施 ・受精卵譲渡 300個 ・和牛妊娠牛譲渡 13頭	○	○	・子牛出荷頭数 67頭、生産頭数 81頭、妊娠頭数 97頭 ・優良和牛雌牛導入：0頭 【未達成の要因・理由】優良和牛雌牛価格高騰のため ※総頭数 245頭（目標 218頭） ○ ・受精卵譲渡：277個 ・和牛妊娠牛譲渡：12頭

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
14 新たに就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や国営開発農地等での畑作営農等を支援します。	①新規就農者を育成する農業法人等の担い手育成機能の強化を支援 ・第1期丹後農業実践型学舎生の新規就農を支援 ・新規就農希望者の研修を行う農業法人数 6 法人	○	◎	第1期丹後農業実践型学舎生の新規就農を支援 ・関係機関による就農予定ほ場における実践栽培研修、就農資金確保に向けた調整等 新規就農希望者受入農業法人数 8 法人 (新規・就農・就業者定着促進事業等)
	②農業を支える多様な担い手を確保育成 ・新規就農者数 30名 ・新規就農希望者等の農業基礎知識の習得度 90%		◎	・新規就農者数 30名 ・農業基礎講座における習得度 98.1% (8回開催)
	③若手農業者による自主的な経営能力向上を支援 ・若手農業者による自主的な課題の抽出とセミナー開催による課題解決 2テーマ		○	2テーマ (販売経路の開拓について、ブランド化について)
	④集落型農業法人の経営安定を図り、京野菜部門等の売上アップを支援 ・京野菜部門の売上が増加した法人数 2社以上		△	京野菜部門の売上が増加した法人数 1社 【未達成の要因・理由】 小ギクの単価低迷や台風被害による収益低下(2社)
	⑤実践研修により基幹漁業(定置網、底曳網)等の就業者を確保、次世代を担う人材育成の拠点づくりを推進 ・新規就業者数 42人(府全体) ・「海の民学舎(仮称)」開校に向けた設立準備		◎	新規就業者数 49人(府全体) ・新規就業者確保のため、実践研修を実施(8人) 「海の民学舎」開校に向けた設立準備 ・新規就業者講座研修生を選考、10人が入舎
	⑥丹後国営開発農地の営農条件を整備、丹後農業実践型学舎の運営を支援 一丹後農業実践型学舎の研修用農地の土壌改良・排水対策・獣害対策等を実施 ・整備面積 20ha 一学舎生を受け入れ、野菜栽培技術や商品開発手法等の習得への支援 ・2期生10名受け入れ、1期生の就農に向けたサポート強化		○	・整備面積 19.3ha ・2期生 9名受け入れ ・学舎生が栽培したニンジンを経済市場の支援によりJAを通して初出荷、ワタミファームとの契約栽培等の販路確保、農機レンタル制度策定等 ・1期生には、外部講師によるマーケティングに関する講座を開催、商品開発や販売戦略等について知識を習得
	⑦丹後地域特産物育成協議会と連携し、各作物4名以上の新規栽培者を拡大 ・みず菜4名、黒大豆枝豆4名、九条ネギ4名、小ギク4名		◎	みず菜4名、黒大豆枝豆4名、九条ネギ5名、小ギク4名
	⑧茶産地基盤確立に向け、収益性を向上させ優良茶園化を推進 ・モデル茶園10a当たり粗収益額40万円		△	モデル茶園10a当たり粗収益額 180,980円 【未達成の要因・理由】 雪害や虫害により低下した樹勢の回復が遅れているため

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】	
			小項目		
14 新たに就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や国営開発農地等での畑作営農等を支援します。	⑨国営農地でのタバコの品目転換を推進 ・葉たばこに代わる導入品目の選定 実証ほの設置 4品目 ・収益性の高い品目の栽培面積拡大 5ha		◎	葉たばこに代わる導入品目の選定、実証ほの設置 4品目 ・小玉スイカ、ジャガイモ、サトイモ、金時ニンジン 収益性の高い品目の栽培面積拡大 短型ゴボウ栽培面積 5ha	
15 野生鳥獣被害の半減を目指し、捕獲と地域ぐるみの防除による総合的な対策を推進します。	①地域ぐるみで取り組む防除対策支援による野生鳥獣の被害額をH25年度（90百万円）以下にする ・防護柵設置延長 60集落、120km ・ニホンザルの群れの個体数調整実施 2群 ・関係機関と連携した獣害対策指導 指導員研修会の開催 1回 ・地域住民との協働による被害対策の推進（モデル集落）2集落	◎	◎	被害額：6,139万円 防護柵設置（発注済）延長 111集落 182km ニホンザルの群れの個体数調整の実施 2群 関係機関と連携した獣害対策指導 ・指導員研修の開催 1回 ・現地指導 150集落 696名 地域住民との協働による被害対策の推進（モデル集落）2集落 ・宮津市小田宿野地区、宮津市大島地区	
	②有害鳥獣の安定的な捕獲体制を確保 ・新規免許取得者数 20人			◎	・新規免許取得者 41人
	③シカ等の生息数削減のための捕獲を推進 ・狩猟・有害による捕獲頭数 シカ4,500頭 ・捕獲講習会の開催 1回			◎	・有害許可によるシカ捕獲数 5,426頭 ・捕獲講習会の開催 1回
	④有害鳥獣捕獲を支援 一複数猟友会の連携による広域捕獲の推進 ・兵庫県との連携による広域捕獲 2回 ・管内の猟友会の連携による広域捕獲 2回 一民間隊員による鳥獣被害対策実施隊を編成、有害捕獲体制を充実 ・民間隊員を含む鳥獣被害対策実施隊の編成・支援 3市町			◎	・兵庫県との連携による広域捕獲 2回 ・管内猟友会の連携による広域捕獲 3回 ・民間隊員を含む鳥獣被害対策実施隊の編成・支援 3市町（宮津市、伊根町、与謝野町）
16 環境にやさしい農業を推進します。	①地域をあげた環境にやさしい農業を推進 ・エコファーマー数 累計324人 ・コウノトリも育む生物多様性フォーラム開催 1回 ・コウノトリも育む生物多様性水稲展示ほ 9カ所	○	○	・エコファーマー数 累計318人 ・コウノトリも育む生物多様性フォーラムの開催 1回（参加者数 40人） ・コウノトリも育む生物多様性水稲展示ほ 10カ所	
17 新たな雇用を創出するため、新規求人者数8,000人を目指すとともに、求人・求職のマッチング機会を増強し、総合的な中小企業支援・サポートを実施します。	①オール丹後体制での中小企業者の経営課題や企業のニーズに応じた経営サポートを実施 ・応援隊による伴走支援件数 5,000件		◎	応援隊による伴走支援件数 5,990件	
	②地域資源を活かした特色ある創業や経営改善等を支援 ・支援事業採択件数 60件		◎	支援事業採択件数 72件	

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
17 新たな雇用を創出するため、新規求人者数8,000人を目指すとともに、求人・求職のマッチング機会を増強し、総合的な中小企業支援・サポートを実施します。	③丹後UターンセンターにおけるU・Iターン就職を支援 ・U、Iターン新規登録者数 165人 ・U、Iターン就職者数 110人	○	○	U・Iターン新規登録者数 313人 U・Iターン就職者数 104人 ・管内市町成人式でのUターンPRチラシ配架 ・北京都ジョブパークと意見交換会を開催 ・U・Iターン・雇用施策に係る2市2町担当会議開催
				・北部地域就職面接会 6回 ・参加企業社数 延べ242社 ・参加者数 616名（綾部会場中止）
	④ハローワークや北京都ジョブパーク等と連携した就職面接会等を開催 ・就職面接会の実施 5回 ・参加企業社数 延べ150社 ・参加者数 590人 ・即戦力となる新規福祉人材の養成、就職セミナー、施設見学会の開催による介護・福祉人材の確保や、小・中高生等に対する福祉職場への理解を促進する取組による将来の福祉の担い手を育成			◎
⑤「京都府北部福祉人材養成校」の整備推進、福祉施設等の人材確保、育成及び人材定着等の取組を支援し、介護・福祉サービスの向上を図る ・福祉人材育成認証制度を活用した事業所取組支援 支援件数15法人 ・養成校の整備及び養成システムの構築に向けた関係市町と連携支援	◎	福祉人材育成認定制度を活用した事業所取組支援 支援件数 19法人（宣言19法人 認証8法人） 関係市町・団体等と養成システム等について協議 ・H27.4.11 学校法人京都YMCA学園 介護福祉士養成校 入校式		
18 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。	①織物、機械金属の技術相談を通じた在職者の人材を育成 ・延べ5,000人		△	織物、機械金属の技術相談を通じた在職者の人材を育成 延べ3,892人(77.8%) ・織物関係 延べ2,445人 ・化学関連 延べ988人 ・機械金属関連 延べ459人 【未達成の要因・理由】 主として織物関係に係る廃業等、産地の規模縮小により技術相談が減少傾向

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】	
			小項目		
18 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。	②企業ニーズや受講者ニーズ、地域の事情などを的確に反映し、各種研修会、講習会、研究会等を実施 ・受講者 延べ3,500人	○	○	各種研修会、講習会受講者 延べ3,405人（97.3%） ・織物研修研究会関連 延べ459人 ・織物指導事業等関連 延べ591人 ・化学関連 延べ45人 ・機械金属関連 延べ793人 ・次世代新産業育成事業 延べ522人 ・企画総務関係 延べ185人 ・雇用維持のための教育訓練 延べ72人 ・経営関係研修等 延べ738人	
	③技能検定のための受検対策講座を開催、技術力の向上を支援 ・講座理解度90%以上			◎	全13講座において理解度100% （講座理解度については、受講者にアンケートを実施） ・金属熱処理2級対策・金属熱処理技術基礎講習会 ・マシニングセンタ1・2級実技 ・第二種電気工事士対策講座 等
19 森林の公益的機能の確保と府民ぐるみの取組を推進します。	①森林施業を集約化 ・森林経営計画樹立面積 170ha ・森林整備面積（間伐） 180ha	○	◎	・森林経営計画面積 199ha ・森林整備面積（間伐） 165ha	
	②地域の森林を地域全体で支えるモデルフォレスト運動の取組を推進 ・推進地区 8地区 ・参加人員 1,000人			推進地区 8地区 ・海岸林：3地区（箱石、掛津、浜詰）、人工林：1地区大江山、 ・広葉樹林：3地区（森本、大江山、里波見）、竹林：1地区（男山） 参加人員 1,017人	
	③伐採した木材等について、新エネルギーとして活用 ・木質ペレットストーブを低コスト耐候性ハウスで試行導入 1箇所			◎	ペレットストーブ試行導入 1箇所
	④府内産木材の利用拡大を推進 ・緑の事業体数 33事業体 ・緑の交付金制度を利用した木材使用量 350m3			◎	・緑の事業体数 34事業体 ・緑の交付金制度を利用した木材使用量 352m3
	⑤地域と協働した海岸林の再生を図る ・整備面積 19ha			○	整備面積 18ha ・掛津、浜詰、遊、湊宮、箱石、砂方、間人他
20 丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。	①漂着ごみの回収・適正処理を実施、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全 25箇所 －海岸漂着物発生抑制を目的の調査や啓発活動を実施 －海岸及び河川流域の不法投棄防止パトロールを実施	○	◎	・漂着ごみの回収、処理の実施 24箇所 ・不法投棄監視指導員による海岸、河川等の監視パトロールの実施 265回	
	②不法投棄防止啓発を積極的実施、監視パトロールでの早期発見、迅速かつ厳正な対処に努め、産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理を根絶			○	・不法投棄等特別対策丹後広域機動班会議の開催 ・不法投棄等監視指導員によるパトロールの実施 延べ3,093回

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
2 1 まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業等を活用し、地域活動団体をはじめとする住民との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。	①まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業、事業協定型事業等を活用し、府民協働によるまちづくりを推進 ・事業地域 10地域 ・加悦奥川におけるハード・ソフト一体となったまちづくりを府民協働で推進	○	◎	事業地域 10地域 ・新浜・浜町周辺地域の再生（宮津市）、空き家対策協議（伊根町）ほか 加悦奥川「ちりめん街道水辺公園（仮称）」運営協議会立ち上げ、先進地視察等実施
	②協働コーディネーター等による相談支援・情報共有や地域力再生プロジェクト支援事業による支援を通じて、地域力再生団体を育成 ・支援団体数 延べ230団体 ・管内のNPO団体等の交流を深める地域力再生イベント開催		○	支援団体数 延べ207団体 ・地域力再生プロジェクト支援事業採択 67団体 ・協働コーディネーターアドバイス等支援数 140団体 管内NPO団体等の交流を深めるイベント開催 ・NPOムービー上映会（発表団体8団体） ・NPO等の活動発表会&意見交換会（発表団体11団体、参加者数 90名）
2 2 農山漁村への移住・定住の取組を進めます。	①移住・定住の取組を総合的に推進 ・市町と連携した田舎ぐらし体験ツアー、移住・起業相談会等を開催 10回 ・市町が主体となって取り組む地域の受入体制づくりや移住者向け住宅の確保を支援 10件	○	○	市町と連携した田舎ぐらしツアー、移住相談会を開催 11回（参加者数延べ85人） ・大阪市中心部における相談会、大阪発の丹後ツアーを実施 移住者向け住宅の確保を支援（空き家改修）9件（京丹後市3件、伊根町6件） ・「明日のむら人」移住促進事業を活用
	②未婚者の出会いや交流の場を提供する「コン活」に取り組む地域交流活動を支援 ・コン活ツアー開催支援 4地域		◎	コン活ツアー開催支援 4地域 ・京丹後市久美浜町佐濃地区、宮津市養老地区、京丹後市大宮南地区、京丹後市久美浜町甲坂地区
2 3 地域住民自らが描く村の将来像の実現に向けた活動や地域ぐるみで行う「ふるさと」再発見の取組を支援します。	①明日の「京都村」づくりの取組を支援 ・新規取組地区数 2地区	◎	◎	新規取組地区数 2地区 ・京丹後市久美浜町平田地区、京丹後市網野町三津地区
	②学校などと連携した丹後の農林水産業等の体験学習を展開 ・新たに取り組む地区数 3地区		◎	新たに取り組む地区数 3地区 ・京丹後市網野町新庄（網野南小学校）、峰山町丹波（丹波小学校）、弥栄町野中（弥栄中学校）
2 4 府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」として、さらに連携を強化するとともに、地域の保健医療体制の整備を支援します。	①在宅療養の体制の充実に向けた多職種連携を強化 ・北部医療センターと丹後保健所共催の府民公開講座実施 4回 ・病院と訪問看護、介護福祉施設等の連携を強化し、退院後の在宅療養の質の向上 ・テレビ会議システムを活用した研修や事例研究を通して、介護スタッフのスキルアップを支援		◎	北部地域医療・介護連携プロジェクト ・事前準備会（2回）、会議（2回） ・コアメンバー会議（2回） ・高齢者施設と北部医療センターの意見交換会 「府民公開講座」の共催 4回（受講者数 約610人） ・宮津・与謝地域高齢者入所施設と北部医療センターの意見交換会実施（参加者数57名） 丹後地域の診療所を対象に理想的な在宅療養支援に関するアンケートやヒヤリングを実施（12診療所（眼科・小児科診療所を除く）） テレビ会議システムを活用したセミナー（テーマ：認知症高齢者の意志決定を支援する）の開催（参加者数213人）

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
		達成	小項目	
24 府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」として、さらに連携を強化するとともに、地域の保健医療体制の整備を支援します。	②丹後管内の医療提供体制の充実・医療機能の整備に努める ・高度専門医療機能の充実、患者サービスの向上 ・北部医療センターの医師派遣機能の強化 ・北部医療センターを核とした病病・病診管内の病院や診療所との連携等適切な機能分担、連携体制の構築 ・医科歯科連携による在宅医療体制等の強化 ・医療的ケアを必要とする障害児（者）の受入体制の整備 ・京都府北部看護職支援センターや北京都ジョブパークと連携した看護職確保対策の推進	○	○	診療機能の充実強化 ・地域医療学教室の体制充実（㉕2名→㉖5名） ・麻酔科医の増員（㉕3名→㉖5名） 医師派遣の機能強化 ・派遣実績 3,128回（附属化前（㉔466回）の約6.7倍） 重症障害児者の受入体制の整備 実績：3名受入 ・重症心身障害児者ショートステイ事業所に指定 北部地域看護職確保のあり方検討会 4回開催 北部看護職支援センター等と連携した看護職確保対策の推進 ・相談件数 204回 就業者数 42人
	③若手医師の育成・定着を支援、医療提供体制の充実・強化に努める ・北部公的病院における研修・研究用医療機器の共同利用の促進による医師確保 ・健康長寿コホート研究の取組みを支援、健康長寿づくりを推進			○
25 「たんご健康長寿日本一」を推進します。	①がん検診の受診勧奨を推進 ・がん受診率の低い市町の受診率 30%以上 ーがん予防に関する知識の普及促進 ー検診受診率の一層の向上をめざしたキャンペーン等の展開 ・健康出前、キャンペーン等 13回 ー事業所や学校との連携による「生命のがん教育」の拡大 ・事業所等における生命のがん教育の実施 5箇所 ーたばこ対策を推進	△	△	がん検診受診率（管内2市2町平均） 胃がん18.2% 肺がん31.5% 大腸がん33.4% 乳がん38.3% 子宮がん34.4% 【未達成の要因・理由】 キャンペーン等受診勧奨の効果もあり、管内平均は胃がんを除き30%を達成しているが、2市2町各5項目計20項目のうち9項目が30%に達しなかった。 健康出前、キャンペーンの展開 24回 ・春期 15回 1,926人 秋期 9回 573人 ・宮津市健康福祉フェスタ 135人 事業者等における生命のがん教育の実施 10校 禁煙対策の推進 ・世界禁煙デーの街頭啓発 320名 ・スワンデー（「2」のつく日を銘打った禁煙デー）の取組を実施 局内公所にメールで周知、府民会議参画団体に周知 ・健康づくり事業で禁煙支援ツールの展示による啓発 4回 ・未成年者防煙教育推進研修 22名
	②元気な高齢者を増やすために「健康満丹プログラム」を普及 ー「健康満丹体操」を地域に広めるサポーターの養成 ・プロデューサーを含めたサポーター養成者数 50人 ー健康満丹体操を地域で取り組むモデル地区を選定 ・モデル地区 2地区			◎

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
		達成	小項目	
26 家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。	鳥インフルエンザ、口蹄疫等家畜伝染病のまん延を防止（まん延防止状況 0件） －海外悪性伝染病が万が一発生した時の初動防疫体制を更に強化 ・総合的な実地演習を実施 －農家の飼養衛生管理状況の点検・指導を徹底 －農場への鳥インフルエンザウイルス侵入監視を徹底 －家畜伝染病の予防・まん延防止に必要な情報を農家等に提供	◎	◎	鳥インフルエンザ、口蹄疫等悪性伝染病の発生 0件 鳥インフルエンザ総合訓練の実施 ・机上演習、総合訓練、消毒ポイント訓練を実施 口蹄疫防疫演習 ・机上演習、初動防疫所内実地演習、初動防疫全国実地演習を実施 飼養衛生管理点検・指導 ・偶蹄類飼養農家：診療・繁殖巡回時 ・養鶏農家（千羽以上）：四半期毎に全戸実施 ・養鶏農家（千羽未満）：79戸実施（全戸） ・国内発生に係る指導：3回 鳥インフルエンザウイルス侵入監視 ・サーベイランス実施 四半期毎に全戸実施 ・モニタリング実施農家数 3農家（毎月） 家畜衛生に係る情報提供 ・衛生情報発行 60件
27 高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。	①「認知症疾患医療センター」と連携した「認知症疾患医療協議会（仮称）」を立ち上げ、ネットワークによる認知症対策を推進 ②地域包括ケア推進ネット構築、市町の地域包括ケアの取組を支援 －多職種協働による在宅医療、介護サービスの充実支援 －看取り対策を推進 ・在宅・施設・病院等における看取り支援体制の整備 －認知症疾患医療センターを核とした認知症対策の充実強化 ・初期認知症カフェの設置・事業支援 12箇所 ・徘徊搜索模擬訓練の支援 3箇所 －地域リハビリテーション支援センターとの連携を図り、地域リハビリの支援体制を強化 ・地域リハビリや介護に従事する職員のスキルアップ、訪問リハビリ等地域リハビリの対応力向上	○	◎	「認知症疾患医療連携協議会」設置（医療関係機関等 15機関参画） ・管内認知症対策について協議 認知症疾患医療センター地域連携担当者会議 各市町事例検討会の開催支援 3回 「丹後地域包括ケア推進ネット」設置 ・市町地域包括支援センターとの連絡会議開催 看取り対策の推進 ・看取り期における家族支援に係る検討会 4回 ・在宅看取り家族支援（家族交流会） 参加者41人 ・多職種協働で進める医療と介護の連携フォーラム（参加者数：154人） 認知症対策の充実強化 ・初期認知症対応型カフェの設置・事業支援 16箇所 ・徘徊搜索模擬訓練の支援 3箇所 ・広域情報伝達訓練の実施（3月） ・SOSネットワーク設置支援（宮津市、伊根町、与謝野町） ・オレンジロードつなげ隊の設置（27名） オレンジロードつなげ隊による認知症声かけ訓練（参加者数：70人） ・ケアマネージャー認知症対応力向上研修の開催 1回（参加者数：42人） 地域リハビリの支援体制強化 ・事例研究会の開催 4回（参加者数 延べ147人） ・圏域会議の開催 1回（参加者数：17機関、26人） ・ステップアップ研修 1回（参加者数：42人） ・セラピスト連絡会の開催 3回（参加者数 延べ47人）

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
27 高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。	③高齢者を支える社会基盤整備を支援 ・特別養護老人ホームの整備2箇所 新規支援 1箇所 ・地域密着型の小規模多機能施設等の整備 2箇所 新規支援 1箇所		◎	特別養護老人ホーム整備 2箇所 新規支援 1箇所 ・ふるさと（京丹後市）、安寿の里（宮津市） ・みねやま福祉会が特養整備を計画（宮津市内） 地域密着型の小規模多機能施設等の整備 2箇所 新規支援 1箇所 ・「ふれあいホーム桃山」（京丹後市） ・「あしぎぬホームなごみ」（京丹後市） ・「いさなご荘」（京丹後市）
28 障害者の自立と社会参加を支援します。	①地域で自立した生活を行うためのグループホームの整備を支援 ・管内新規開設数 1箇所以上	○	◎	管内新規開設数 1箇所 ・高天の森（京丹後市）
	②障害者就業・生活支援センターを中心に、関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援 ・②⑥障害者雇用率2%の達成を目指し、積極的に対象企業を訪問し啓発を実施 ・圏域での就職人数 34人以上		△	圏域での就職人数 23人 ・職業準備訓練・職場実習斡旋 26件 ・職場訪問定着支援 309件 ・就職フェア参加事業者へのPR 45社 ・企業訪問件数 22件 ・はあとふる企業への認定促進 認定件数3件 【未達成の要因・理由】 一般事業所からの雇用に至らなかった
	③売れる製品づくり等により、販売の促進と工賃アップを支援 ・②④管内平均工賃17,180円の10%以上		○	管内平均工賃【26年度実績は27年7月頃確定予定】 ・はあとショップたんご連絡会議 4回 工賃アップにおける課題等を検討 たんごアートプロジェクトの検討・大学との連携 ・たんごアートプロジェクト展示会の開催（展示数：15作品 来場者数：210人）
29 少子化対策や健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。	①発達障害児等とその親に対する支援の充実・強化 －発達障害児の事後フォロー体制の充実 －子どもクリニック（発達クリニック）等による親子の絆づくりや子育ての支援 －発達障害専門部会での途切れない一体的なネットワーク体制の強化 －丹後地域発達支援フォーラムの開催 －教育・福祉・医療・保健の連携 ・ほめ方教室等参加者 対象者の5割以上		○	発達障害児の事後フォロー体制の充実 ・保健師対象の発達検査研修会（参加者数：17人） ・保育士対象研修会 2回（参加者数：延べ67人） 親子の絆づくりや子育て支援 ・子どもクリニックの開催 32回 発達相談の実施 22回 ・「自閉症児の親のつどい」の開催 2回（参加者数：延べ25人） ・「ダウン症児の親のつどい」の開催 2回（参加者数：16人） 途切れない一体的なネットワーク体制の強化 ・丹後地域発達支援フォーラムの開催（教育局等との共催）（参加者数：116人） ・ほめ方教室等参加者 対象者（24人）の5割（12人）が参加 ペアレントメンター交流会 4回（対象者14人 参加者数：実9人、延べ36人） ほめ方教室 6回（対象者10人 参加者数：実3人、延べ18人）

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】	
			小項目		
29 少子化対策や健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。	②医療処置の必要な重症な子どもに対し、医療機関や保育、療育、教育機関等と連携し健やかな成長を支援 －関係者会議を開催、地域で支えるネットワーク、体制づくりを強化 －ガイドブック・たんぽぽ手帳の理解と活用の拡大 －定期的な医療的ケア部会及びケース検討会での検討	○		地域で支えるネットワーク、体制づくりを強化 ・自立支援協議会医療的ケア部会で支援体制について協議 5回	
	③「丹後地域子育て支援ネットワーク」を核に、安心して出産し、子育てできる地域づくりを推進 －自立型プラットフォームへの再構築を支援 －「子育て応援隊（仮称）」の設立準備			○	在宅移行に向けた体制づくりのため、北部医療センターにおいて、喀痰 ・吸引等研修（第3号研修）を実施 在宅療養支援連携のための研修会の開催（参加者数 55名）
	④病児、病後児保育を整備 －病児・病後児保育の新規開設の支援			△	開設 0件 【未達成の要因・理由】 市町と検討を進めてきたが、開設は平成27年度予定
	⑤未婚者の出会いや交流の場を提供する「コン活」に取り組む地域交流活動を支援 ・コン活ツアー開催支援 4地域【再掲】			◎	コン活ツアー開催支援 4地域 ・京丹後市久美浜町佐濃地区、宮津市養老地区、京丹後市大宮南地区、京丹後市久美浜町甲坂地区

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
30 自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進し、自殺者数を昨年より減少させます。	①「みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク」の取組を通じて、管内での自殺者数を昨年（21人）より減少 －ネットワークを核とした効果的な広報・啓発、相談会の実施 －うつ、認知症、自殺予防についての理解の拡大とスキルアップ ・ゲートキーパー研修 受講者1,500人 －救急病院、消防、警察と連携した未遂者支援 －気軽に立ち寄り弱音を吐ける「居場所」づくり 2箇所 －小中学生を対象とする予防教育の普及拡大 3校	△	△	管内での自殺者数 24人 【未達成の要因・理由】 ゲートキーパーを3年間で3,000人養成するなど、自殺のサインを見逃さない地域づくりや、新たに病院と連携した自殺未遂者のフォローアップ体制の整備などを進めてきたが、3人増となった 広報・啓発、相談会の実施 ・ネットワーク総会（講演、総合相談会）開催、街頭啓発（3回） ・たんご微笑みプロジェクトでキャッチフレーズ募集（応募数 165作品） 研修等によるうつ等の理解拡大とスキルアップ ・ゲートキーパー研修 受講者数 1,383人（33回実施） ・かかりつけ医うつ対応力向上研修の実施（参加者数 40人） ・未遂者ケアシステム（未遂者を相談支援機関へつなぐ） 管内救急病院（6病院）に協力依頼 ・気軽に立ち寄り弱音を吐ける「居場所」づくり 1箇所 【未達成の要因・理由】 関係機関と協議したが、今年度中の開設に至らなかった 無相堂（宮津市）電話相談スタート 京丹後市内での設置について継続協議 小中学校を対象とする予防教育の普及拡大 1校（大宮南小学校） 【未達成の要因・理由】 実施に向けて視察研修等を実施するが、本年度中の実施につながらなかった。27年度は管内全域で実施することとしている
31 安心・安全な消費生活の実現を図ります。	①府民協働防犯ステーションなどの地域の団体や学校と連携し、普及啓発を行い、被害の未然防止を図る ・出前講座の実施 30回	◎	◎	出前講座の実施 48回 （府民協同防犯ステーション 13回を含む）
32 地域における防災力の向上や地域の互助による救急救助体制づくりを積極的に支援します。	①管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援、地域における大規模災害時等の迅速な対応力の向上を図る －市町地域防災計画の見直しを支援 －地域防災計画の検証や災害時における地域の対応力の向上 ・「地域密着型」広域避難確認訓練の実施 ・丹後地域防災訓練の実施 ・福祉避難所コーナー設置に係る必要資機材の整備や防災・減災リーフレットの作成 ②『ふるさとレスキュー』の取組を支援 ・支援地域 6地域 [新規 1地域]	○	○	市町地域防災計画の見直し支援 ・京丹後市・伊根町で地域防災計画修正（防災会議開催）、与謝野町で修正中 地域防災計画の検証や災害時における地域の対応力向上 ・原子力防災の「地域密着型」広域避難確認訓練の実施（管内2市2町参加者数 120人） ・丹後地域防災訓練実施 7回（宮津市 4回、京丹後市 1回、伊根町 1回、与謝野町 1回） ・津波避難・観光客の誘導訓練（宮津市2回）、土砂災害（宮津市2回、京丹後市1回）・原子力災害（伊根町1回、与謝野町1回）を想定した避難・避難受入訓練等 ・防災講習会の開催 3回（宮津市、京丹後市、与謝野町） ・福祉避難所コーナー設置に係る必要資機材の整備 2箇所 資機材設置訓練・展示を実施 ・防災・減災リーフレット作成、全戸配付 ◎ 支援地域 6地域（新規 1地域） ・新規 佐野甲区（京丹後市久美浜町）

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			小項目	
3 2 地域における防災力の向上や地域の互助による救急救助体制づくりを積極的に支援します。	③住民の防災意識向上、災害の記憶を風化させない取組を推進 ・平成16年の台風23号災害の記憶を風化させないため、民間商業施設等でのパネル展示や砂防ボランティア等と連携して小学校等において出前講座を開催 1,000名の参加を目指す		◎	出前講座等参加者数 2,890人 ・講演会「風水害から地域を守るために」 172人 ・パネル展示・啓発イベント（4会場） 2,244人 ・出前講座（7回）326人 ・その他 工事見学会、河川環境美化活動等
	④水位周知河川等の追加指定を行い、洪水時の警戒避難態勢を強化 ・水位周知予定河川 1河川指定、1河川指定準備 ・水防警報予定河川 2河川指定準備		◎	・水位周知予定 1河川（指定）、1河川（指定準備） ・水防警報予定河川 検討業務作業中
3 3 TPY-2レーダー（Xバンド・レーダー）施設の設置に係る地域の安心・安全を確保します。	①地域交通の安心・安全を確保するため、道路整備を推進（国道178号、482号）【再掲】	○	◎	国道178号、482号：事業着手
	②府、市、関係機関による現地の連絡体制を整え、地域住民の安心・安全を確保		○	・振興局に専任職員配置、現地の定期的巡回と市、防衛局、京丹後警察署との連絡体制を整備 ・米軍経ヶ岬の通信設置に係る安全安心対策連絡会発足 連絡会開催 3回 ・米軍、防衛省への配備・交通安全・騒音対策等に関して申し入れを実施
3 4 遊泳者及びプレジャーボートの事故防止等により、海の利用についての安心・安全な環境づくりを推進します。	①市町及び地元警察署と連携した「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止に関する条例」の周知、安心・安全な環境づくりを推進	◎	◎	遊泳区域における水難事故 3件（死者なし） ・プレジャーボートによる事故 1件（死者なし、負傷者2人） 海水浴場開設届出受理、水難事故防止対策の取組を実施 20箇所 遊泳区域標識 142基設置 啓発リーフレットによる啓発活動実施 2回
3 5 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。	①浸水被害が頻発している河川の改修工事を推進		◎	加悦奥川（宮野橋 完成）、新庄川（中田橋 下部工施工中）、福田川（苗代橋 上部工・護岸工 施工中）、鳥取川（護岸工 完成）、小西川（護岸工 施工中）
	②土砂災害対策工事を推進（砂防・地すべり事業、急傾斜事業）し、防災・減災を図る －10箇所の砂防・地すべり事業の推進（うち2箇所完了、1箇所工事着手） －5箇所の急傾斜事業の推進（うち2箇所工事着手）		◎	・砂防・地すべり事業の推進 10箇所（うち完了2箇所、1箇所工事着手） ・急傾斜事業の推進 5箇所（うち1箇所完了、2箇所工事着手）
	③土砂災害のおそれがある区域を明確化、警戒避難態勢の整備を進め、住民の安心・安全を支える －土砂災害警戒区域等を450箇所指定（指定箇所数 2,749箇所） 【指定率75%⇒89%】		◎	土砂災害警戒区域等指定数 549箇所（指定箇所数2,848箇所 指定率90%）

運営目標	目標の内容（小項目）	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
		小項目		
35 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。	④災害と雪に強い道路ネットワークを整備、災害時の避難・救助や物資の安定した供給を図る －緊急輸送道路の整備促進 －緊急輸送道路 橋梁の耐震対策 1橋完了2橋推進（73橋のうち71橋完了） －緊急輸送路以外 橋梁耐震対策 2橋推進 －冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の整備促進 国道178号、312号、482号【再掲】 緊急輸送路の耐震対策 1橋完了、2橋推進 緊急輸送路以外の橋梁耐震補強 2橋推進 冬場の幹線道路の安全性向上の工事推進
	⑤建築物の安心・安全の確保 －建築物の安心・安全の確保大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進 －耐震診断受診を推進し、診断済家屋に対して、耐震改修制度の案内を行うとともに、木造住宅耐震改修（補助）の促進を図る ・耐震診断 70戸 ・耐震改修（簡易型耐震改修を含め） 50戸 －一般府民向けの耐震フェア開催		△	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断 41件 耐震改修 13件（簡易型含む） 耐震フェアの開催（市町との連携開催） 住宅団地自治会への耐震出前講座の実施（参加者数 50人） 京丹後市峰山町菅自治会（京丹後市と連携開催） 【未達成の要因・理由】 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者世帯が多く、家屋の維持にも積極的でない世帯が多い 平入四間取り（ひらいりよつまどり）を標準とする丹後型住宅は、規模が大きく改修費用が多額となる。伝統的工法のため使い勝手と耐震改修の両立が難しい 宮津市・伊根町は大規模震災の経験がなく、京丹後市・与謝野町についても昭和2年の北丹後地震から85年が経過し、被災経験が風化
	⑥公共土木施設災害復旧事業を推進 －災害復旧事業の早期完成 ・25年発生災害46箇所の復旧工事を完了 －㊦台風18号で被害を受けた地区における治山事業による重点的な復旧工事を推進 ・復旧工事推進箇所 3箇所 うち復旧完了箇所 1箇所 ・台風18号被害額296,000千円のうち、復旧額99,000千円		◎	公共土木 46箇所の復旧工事完了 治山 3箇所中2箇所推進（1箇所予算未措置） <ul style="list-style-type: none"> 復旧完了箇所 1箇所 復旧額 105,114千円

目標達成状況（達成区分）	件数	割合
目標達成「◎」（小項目のすべてが◎）	10	29%
概ね達成「○」（小項目の◎○が2／3以上）	22	63%
未達成「△」（小項目の◎○が2／3未満）	3	9%
計（運営目標数）	35	

【小項目の達成区分】
「◎」…目標達成・上回って進捗（達成率100%以上）
「○」…概ね達成（達成率90%～100%未満）
「△」…未達成（達成率90%未満）